



**福島市**  
FUKUSHIMA CITY

令和2年度

# 1月補正予算（第11号）主な補正内容

1. 新型コロナウイルス関連 緊急支援策（第九弾）

2. ふるさと納税促進事業

3. 除雪費用の追加

# 補正予算額（一般会計）

# 16億1,522万円

単位:千円

事業費 合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
1,615,223	172,770	—	—	1,442,453

※うち232,700千円は予備費に調整計上

## 【参考】予算累計額（一般会計）

## 1,573億2,938万円（対前年20.3%増）

## 第九弾【1/14発表】

新型コロナウイルスの感染防止と社会経済活動の回復の両立を図るため、1. 感染防止対策、2. 市民生活支援、3. 地域経済対策、4. 「新しい生活様式」に対応した社会の形成の4本の柱を軸に、これまでスピードと効果を重視しながら8次にわたる緊急支援策を実施してきました。

昨年12月20日、市医師会と共同で独自の緊急警報を発令して、最大限の警戒をお願いしましたが、依然予断を許さない厳しい状況が続いております。このため、今回の第九弾では、高齢者等入所施設や飲食店・事業所の感染防止対策のさらなる強化や、感染拡大の影響により売上げが急減した事業者への支援を実施します。

### 緊急支援策第九弾 予算額(一般会計)

8事業

単位:千円

事業費 合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
1,015,223	172,770	—	—	842,453

# 新型コロナウイルス関連 緊急支援策【第九弾】

支援策	時期	第一弾(3/23)	第二弾(4/9)	第三弾(4/22)
第1の柱 感染防止対策		●保育所等へ不織布マスク・消毒液等の購入支援、または配布 ※小中学校への備蓄マスク 2万枚の配布 (3/27)	●地域でマスクをつくって、学校応援プロジェクト	●医療機関への特別給付金の給付 ●医療資材の提供 ●PCR検査体制の強化 ●母子生活支援施設の感染症対策に係る改修費用の補助 ほか
		●放課後児童クラブの運営費補助 ※保育料の減額(3/4) ※相談専用電話の設置(2/5) ※帰国者・接触者相談センターの設置(2/7) ※救急車全13台にウイルス活動を抑制するオゾン発生装置の設置 (3/16以降順次)	※ICT教材を活用した学習支援 (4/13以降随時更新) ※本庁1階に市独自の生活相談案内窓口の設置(4/17)	●特別定額給付金等の早期支給 ●市営住宅の入居支援 ●内定取消学生等に対する就職支援 ●児童生徒の学習支援の強化 ●放課後児童クラブの運営費補助 ●患者等への相談体制の強化 ほか
第3の柱 地域経済対策				
①事業者 緊急支援		●信用保証料補助・利子補給 ●ピンチをチャンスにプロジェクト	●福島エールごはんプロジェクト ●旅館業への温泉使用料・水道料金の減免	●テナント飲食店舗への賃料の補助 ●自己所有飲食店舗への補助 ●市場使用料等の納付猶予
②地域経済 回復				

※印:発表期間前後に実施(決定)したもの

# 新型コロナウイルス関連 緊急支援策【第九弾】

支援策	時期	第四弾(5/21)	第五弾(6/22)・(7/27)
第1の柱 感染防止対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>●第2波を想定した医療体制の充実</li> <li>●産後ケア事業を行う施設への衛生用品等の支援</li> <li>●ごみ収集事業者への衛生用品の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ICT導入による市内保育施設・幼稚園の「新しい生活様式」への対応支援</li> <li>●市有施設の感染防止対策の徹底</li> <li>●保育施設・幼稚園等の感染防止対策充実</li> <li>●(子どもたちの学びの保障) 小・中・養護学校の感染防止対策充実</li> <li>●避難所における感染防止対策の強化</li> </ul>
	第2の柱 市民生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ふくしま市民生活エールクーポン</li> <li>●学生の臨時就労機会の創出</li> <li>●認可外保育施設利用者の支援</li> <li>●子ども食堂の支援</li> <li>●情報発信の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●妊婦のPCR検査体制の整備</li> <li>●妊産婦へのオンライン保健相談会実施</li> <li>●ひとり親世帯への臨時特別給付金早期支給</li> <li>●住居確保給付金の追加</li> <li>●赤ちゃん応援特別定額給付金の支給</li> <li>●(子どもたちの学びの保障) 小・中・養護学校の感染防止対策充実(再掲)</li> </ul>
第3の柱 地域経済対策			
①事業者緊急支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>●国給付金対象未満の事業者等への支援</li> <li>●公共交通事業者への支援</li> <li>●市場使用料の減免</li> <li>●就職活動マッチングの支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中心市街地へのテナント進出支援</li> <li>●信用保証料補助・利子補給の追加</li> <li>●障がい者就労継続支援事業所の事業継続支援</li> </ul>
	②地域経済回復	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい生活様式に対応したビジネスモデル創出への支援</li> <li>●イベント開催等を通じたにぎわいの回復 ※県民限定宿泊割引を活用した誘客(サクランボ狩り助成)(6/15)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●GoToキャンペーンを見据えた観光プロモーションの強化</li> <li>●古閑裕而記念館の受け入れ態勢強化 ※「新しい生活様式」に対応した文化・スポーツイベントや会議の会場費用支援(7/2)</li> </ul>

※印:発表期間前後に実施(決定)したもの

# 新型コロナウイルス関連 緊急支援策【第九弾】

支援策	時期	第六弾(8/25)	第七弾(10/15)
第1の柱 感染防止対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者入居施設の感染拡大防止のための改修費用の補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●インフルエンザとの同時流行防止策</li> <li>●一般医療機関における検査体制の 拡充</li> <li>●小・中・養護学校の感染防止対策費用の追加</li> <li>●救急活動の感染防止対策費用の追加</li> </ul>
第2の柱 市民生活支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>●(子どもたちの学びの保障) 校外活動実施の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス関連支援策の利用促進</li> <li>※ふくしま市民生活エールクーポン追加販売(10/22)</li> </ul>
第3の柱 地域経済対策			
①事業者 緊急支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域公共交通(鉄道)事業者への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中心市街地へのテナント進出の支援</li> </ul>
②地域経済回復		<ul style="list-style-type: none"> <li>※「新しい生活様式」に対応した結婚式披露宴の会場費用支援(9/18)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス関連支援策の利用促進(再掲)</li> </ul>
第4の柱「新しい生活様式」に対応した社会の形成		<ul style="list-style-type: none"> <li>●窓口キャッシュレス決済の導入</li> <li>●庁内Wi-fi環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シェアサイクルの導入</li> <li>●電子町内会モデル事業</li> <li>●「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援</li> </ul>

※印:発表期間前後に実施(決定)したもの

# 新型コロナウイルス関連 緊急支援策【第九弾】

支援策	時期	第八弾(11/19)	第九弾(1/14)
第1の柱 感染防止対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>※発熱外来の追加設置(2カ所)(11/4)</li> <li>※新型コロナウイルスワクチン接種体制整備に向けた準備(12/21)</li> <li>※医療機関・医療関係者への緊急支援(12/25)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者等入所施設における感染防止対策強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止アドバイザーの派遣</li> <li>・施設全職員のPCR検査</li> </ul> </li> <li>●飲食店における感染防止対策強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・PCR検査対象店舗の拡大</li> <li>・PCR検査済みステッカーの活用</li> <li>・感染防止対策チェック表による実施状況の明確化</li> </ul> </li> <li>●新たなビジネスモデル創出支援事業を再開し、感染防止対策等を支援</li> </ul>
第2の柱 市民生活支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>●ICTを活用した「福島型オンライン授業」開始に向けた学習環境の整備</li> <li>※ひとり親世帯への臨時特別給付金追加支給(12/14)</li> </ul>	
第3の柱 地域経済対策			
①事業者 緊急支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域公共交通(鉄道・路線バス)事業者への支援</li> <li>※年末年始緊急融資の実施(12/23)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●売上げが急減した事業者への営業継続支援</li> </ul>
②地域経済回復			
第4の柱「新しい生活様式」に対応した社会の形成			<ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい生活様式に対応したビジネスモデル創出への支援(再掲)</li> </ul>

※印:発表期間前後に実施(決定)したもの

# 新型コロナウイルス関連 緊急支援策【これまでの経過】

<b>第1弾（3月23日発表:3月23日議決）</b> 不織布マスク等の購入支援、ピンチをチャンスにプロジェクト、信用保証料補助 など	<b>3億9,600万円</b> （一般財源 2億1,000万円）
<b>第2弾（4月9日発表:予備費充用）</b> 地域でマスクを作って学校応援プロジェクト、旅館業への温泉使用料・水道料金の減免 など	<b>1,800万円</b> （一般財源 1,800万円）
<b>第3弾（4月22日発表:4月30日議決）</b> 医療機関への特別給付金の給付、医療資材の提供、特別定額給付金の早期支給 など	<b>294億6,500万円</b> （一般財源 5億3,100万円）
<b>第4弾（5月22日発表:6月1日議決）</b> ふくしま市民生活エールクーポン、新しい生活様式に対応したビジネスモデル創出支援 など	<b>40億500万円</b> （一般財源 12億3,200万円）
<b>第5弾（6月22日発表:6月25日議決）</b> ICT導入による市内保育施設・幼稚園の「新しい生活様式」への対応支援 など	<b>8億2,700万円</b> （一般財源 3億8,800万円）
<b>第5弾追加（7月27日発表:7月31日議決）</b> 保育施設・幼稚園等の感染防止対策充実、学校の感染防止対策充実 など	<b>5億3,000万円</b> （一般財源 2億6,100万円）
<b>第6弾（8月25日発表:9月18日議決）</b> 庁舎窓口キャッシュレス決済の導入、庁内Wi-fi環境の整備 など	<b>1億1,400万円</b> （一般財源 8,500万円）
<b>第7弾（10月15日発表:10月20日議決）</b> 冬季に向けた医療体制の充実、「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援 など	<b>3億4,700万円</b> （一般財源 3億1,200万円）
<b>第8弾（11月19日発表:12月15日議決）(専決、予備費充用)</b> ICTを活用した「福島型オンライン授業」開始に向けた学習環境の整備、医療機関緊急支援など	<b>11億3,300万円</b> （一般財源 7億4,000万円）
<b>第9弾（1月14日発表）</b> 高齢者等入所施設の感染防止対策強化、事業者営業継続緊急支援 など	<b>10億1,500万円</b> （一般財源 8億4,200万円）
<b>緊急支援策 累計額</b> （新型コロナウイルス地方創生臨時交付金 交付決定額 29億2,335万円）	<b>378億5,000万円</b> （一般財源 46億1,900万円）



## 第1の柱 感染防止対策 7事業 356,223千円

### (1)高齢者・障がい者入所施設における感染防止対策強化

重症化しやすい高齢者・障がい者の入所施設における感染防止対策を強化し、クラスタの発生を未然に防ぎます。

#### ①感染防止対策アドバイザーの派遣 【市独自】

市が各入所施設の『感染症対策マニュアル』等を訪問の上確認し、助言・指導を行います。

《対象》 高齢者入所施設 市内全180施設  
障がい者入所施設 市内全6施設

#### ②施設職員のPCR検査 【市独自】 事業費:93,555千円

高齢者・障がい者の入所施設に勤務する全ての職員を対象に、唾液型PCR検査の実施を呼びかけ、クラスタの発生を防ぎます。

《対象》 高齢者入所施設 約6,000名  
障がい者入所施設 約300名

(唾液型PCR検査イメージ)



## (2)飲食店における感染防止対策強化

### ①PCR検査対象店舗の拡大 【市独自】 事業費:8,910千円

福島駅東口地域(大町、置賜町、栄町、陣場町、新町、万世町、本町)の酒類を提供している飲食店(スナック、バー、居酒屋等)の従業員に対して実施してきたPCR検査について、市内全域の酒類を提供する飲食店に拡大して実施します。

福島駅東口地区の接待を伴う飲食店  
(お酒を提供する飲食店を追加)  
1月13日まで



市内全域 お酒を提供する飲食店  
1月19日(火)、27日(水)、2月3日(水)

第2弾

### ②PCR検査済ステッカーの配布 【市独自】 既定予算対応

PCR検査を実施した飲食店には検査日を記入したステッカーを配布し、店頭または店内に表示してもらい、利用者への安心の提供と感染防止対策の徹底を図ります。



### ③感染防止対策チェック表による実施状況の確認

【市独自】 事業費:1,000千円

感染防止対策チェック表を配布し、定期的に感染防止対策の実施状況のセルフチェックを促します。

また、市が実施状況を確認して感染防止対策の強化を図ります。

## (3)事業者の感染防止対策等の支援 【市独自】 事業費:30,000千円

令和2年6月に創設した『新たなビジネスモデル創出支援事業』を再開し、中小企業者や個人事業者が取り組む感染防止対策や、ICTの活用等による新しい生活様式に対応した新たなビジネスモデルの創出を、引き続き支援します。

①対象者:市内に本店を有する中小企業者、及び市内に店舗、事務所を有する個人事業主

②補助率:1/2以内、下限50千円・上限500千円

《これまでの活用例》

(感染防止対策)

サーモグラフィカメラの導入、  
非接触型水栓の設置工事、  
電子決済型POSレジの導入 など

(ICTの活用)

電子決済型POSレジの導入  
クラウド型タクシー配車システムの導入 など

## (4)PCR検査費用・医療費の追加 事業費:222,758千円

感染拡大により新型コロナウイルスの検査費用や医療費が見込みを大幅に上回ることから必要経費を追加します。

## 第3の柱 地域経済対策 1事業 659,000千円

### (1)事業者営業継続緊急支援 【市独自】 事業費:659,000千円

新型コロナウイルス感染拡大の影響等により売上高が減少している事業者に対し、事業を継続するための給付金を交付して、本市経済を下支えします。

売上高減少率	給付金額
70%以上の事業者	300,000円
50%以上70%未満の事業者	200,000円
30%以上50%未満の事業者	100,000円

【接待を伴う飲食店、カラオケ店を含む酒類の提供を行う飲食店について】

- ①22時以降に営業していた事業者は、対象となりません。
- ②20時～22時まで営業していた事業者へは、30%以上売上が減少した場合、一律10万円を交付します。

《対象》 市内に本店を有する中小企業者、及び市内に店舗、事務所を有する個人事業主

- 《条件》
- ①申請日時時点で営業しており、今後も営業継続の意思があること。
  - ②令和2年12月または令和3年1月の初日時時点で、2か月以上営業していること。
  - ③令和2年12月または令和3年1月の売上高が前年比30%以上減少していること。
  - ④『新しい生活様式』への対応など、感染防止対策に取り組んでいること。
- ※飲食店においては、感染防止対策の検査により、適正に実施しているとの確認を受けること。

# その他 補正予算額（一般会計）

## 6億円

※事業費ベースでは  
3億6,730万円

単位:千円

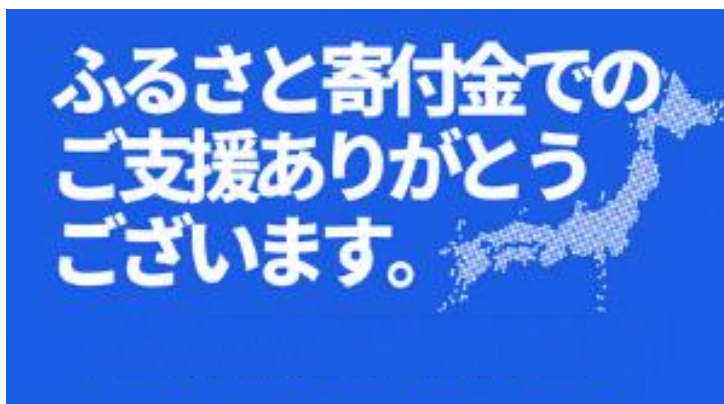
事業費 合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
367,300	—	—	600,000	△232,700

※財源内訳中その他は ふるさと寄附金  
232,700千円は予備費に調整計上

## 2. ふるさと納税促進事業

補正額 267,300千円

ふるさと納税による寄附金額が12月までで約7億円に達し、最終的に9億円程度(昨年度の6倍)と見込まれるため、返礼品や決済手数料などの必要経費を追加します。



## 3. 除雪費用の追加

補正額 100,000千円

昨年12月15日から20日にかけて市全域で降った大雪により、除雪費用が当初の見込みを大幅に上回ることから、今後の冬期間の円滑な道路交通を確保するため、除雪費用を追加します。